

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもデイサービスセンター星ひろば		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 24日		～ 2026年 1月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		～ 2026年 1月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	介護保険事業所(デイサービス)と併設	<ul style="list-style-type: none"> 設備の共用(リハビリ機器・レク用品・送迎車両) 職員間でノウハウや情報の共有 併設施設の看護師との連携(安心感) 	<ul style="list-style-type: none"> 行事等で障害児と高齢者の交流の機会を増やしていく
2	医療機関(病院)が隣接	<ul style="list-style-type: none"> 職員の感染予防対策として早期のワクチン接種 感染対策の勉強会参加 病院の医師や看護師との連携(安心感) 	<ul style="list-style-type: none"> 勉強会参加を積極的に行なっていく
3	託児所が隣接	<ul style="list-style-type: none"> 職員の子供を併設している託児所に預けることで、安心して働くことが出来る 	<ul style="list-style-type: none"> 行事等による交流の機会を増やしていく
4	同一建物内に厨房があり、食事の提供が可能	<ul style="list-style-type: none"> 適温でバランスの取れた食事の提供が可能 管理栄養士も配置しており、食事に関する相談ができる 個々に合った食事量の選択が可能 	<ul style="list-style-type: none"> 子供向けメニューの採用

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職(作業療法士・言語聴覚士など)による支援	<ul style="list-style-type: none"> 作業療法士、言語聴覚士など、専門職による支援が望まれるが、現段階では確保できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣施設や他産業に負けない魅力ある職場作り 職員募集スキルや採用戦略の立案 法人内での職員異動(適材適所) 専門性向上につながる研修の参加
2	こどもに対する保護者の対応力向上のための「ペアレント・トレーニング」や保護者が参加できる研修の情報提供	<ul style="list-style-type: none"> 保護者への相談支援(アドバイスや助言)はできているが、研修に関する情報提供などはできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員の専門性向上につながる研修の参加 職員研修にペアレント・トレーニングに関する研修等を組み込み、こどもに対する保護者の対応力向上につなげていく。